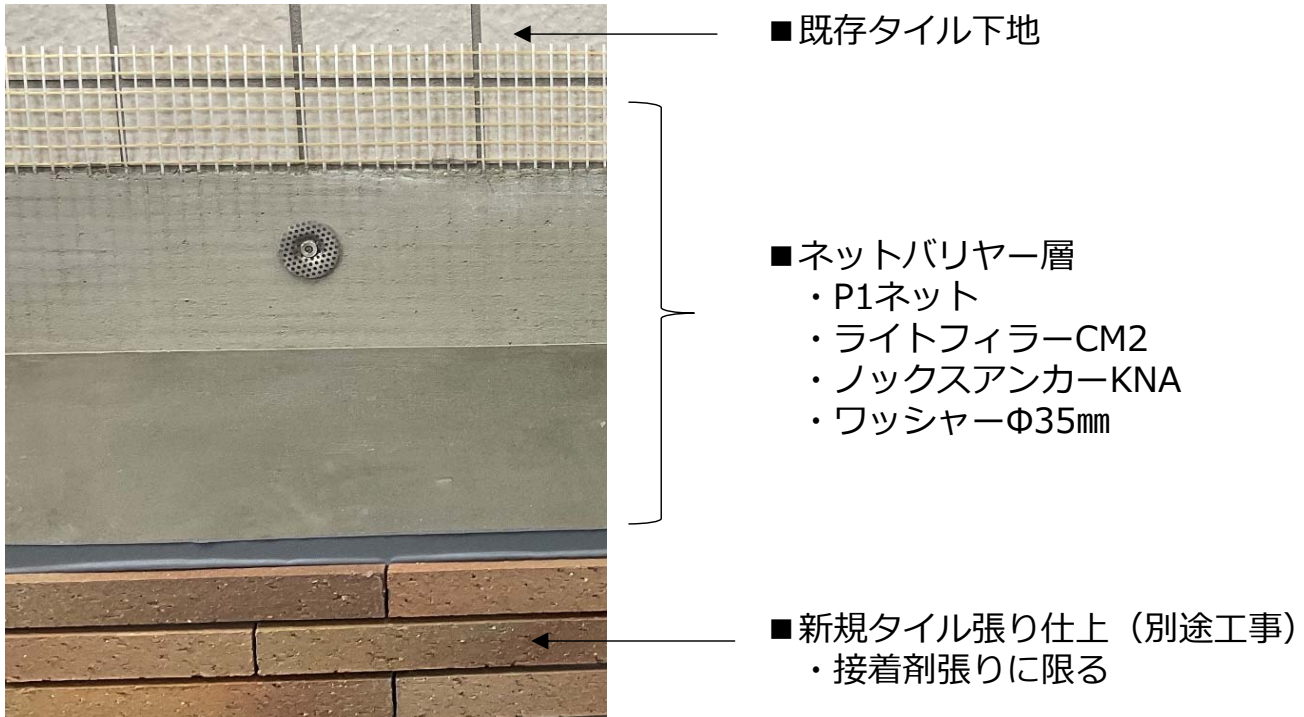


# ネットバリアー工法 V1

タイル張り仕上げのネットバリアー工法、ALCパネルやコンクリートブロック下地向けのネットバリアー工法など、多様な (Various) 下地・仕上に対応できるネットバリアー工法V1を紹介します。



## ネットバリアー工法V1 タイル仕上の例

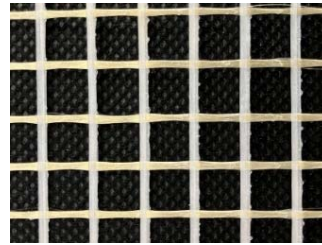
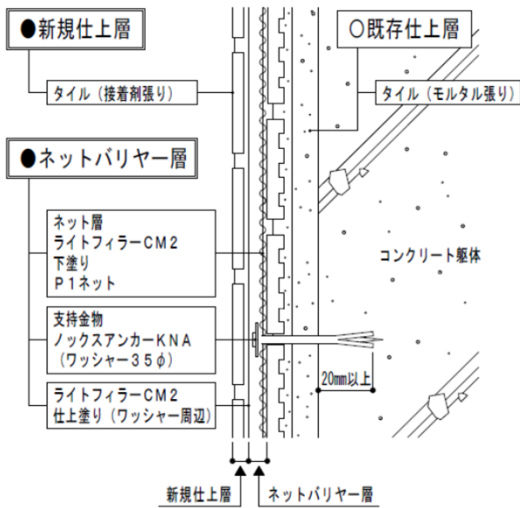
### 特 長

- 強固なネット層を形成するモルタル材料 「ライトフィラーCM2」
  - ☑ 「下地調整塗材CM-2」規格に適合、標準塗厚3~60mmで断面修復にも使用可能
  - ☑ アラミド短繊維を配合し、面連結を保持
  - ☑ ネット張り・仕上塗りが可能な万能タイプ
  - ☑ 一材化により混和液不要 水を加えるだけで使用可能
- 強固なネット層を形成する専用ネット 「P1ネット」
  - ☑ 航空機や防弾チョッキなどに使用されるアラミド繊維を使用
  - ☑ 柔軟性、耐アルカリ性に優れ、セメントモルタル内で強度を維持
- 様々な下地にしっかり固定するアンカー・ビス等 「支持金物」
  - ☑ 新規仕上+ネット層を下地に確実に支持する専用アンカー・ビス
  - ☑ 耐久性、耐候性に優れたステンレス製の支持金物

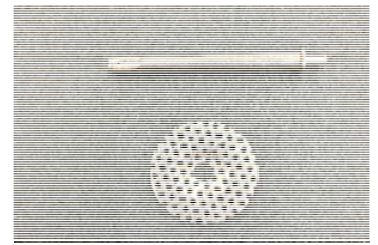
# ① RC下地・新規タイル仕上

## 材料仕様

製品名	荷姿	m <sup>2</sup> 当り使用量	備考
ライトフィラーCM2	20kg/袋	5.0kg/m <sup>2</sup> (清水含まず)	混合比(重量比) 粉体:清水=20:4 ネット張付け用 (t3程度)
ライトフィラーCM2	20kg/袋	3.3kg/m <sup>2</sup> (清水含まず)	同上 タイル下地仕上塗り用 (t2程度)
P1ネット	巾1.1×長さ100m/巻	1.0m <sup>2</sup>	アラミド・ビニロン複合ネット
ノックスアンカーKNA	KNA-35:200本/箱 KNA-50:100本/箱 KNA-60:100本/箱 KNA-70:100本/箱 KNA-80※:100本/箱 KNA-100※:100本/箱 ※:受注生産品	6.25本/m <sup>2</sup>	ワッシャーφ35付 ステンレス製 ・アンカー本体:SUS304,SUSXM7 芯棒:SUS431 ・ワッシャー:SUS304



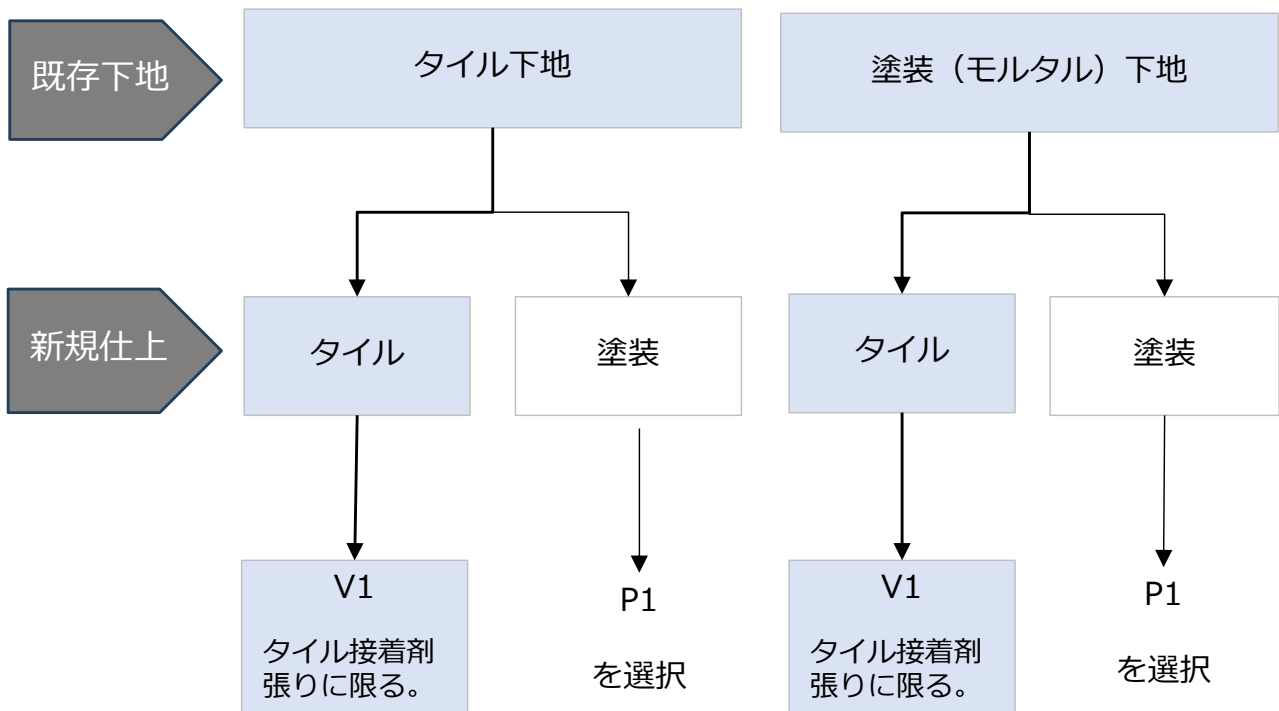
P1ネット  
・横: アラミド繊維  
・縦: ビニロン繊維



アンカーピンKNA  
ワッシャーφ35

## 適用フローチャート

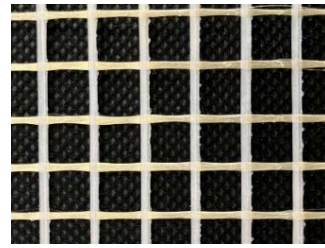
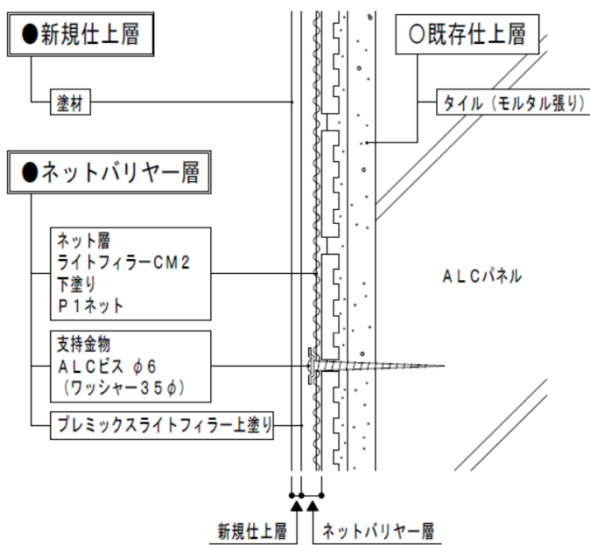
ネットバリアー工法V1の表面仕上げは平滑面のため、タイル張りは接着剤張りに限定されます。



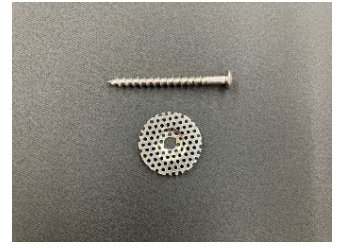
# ② ALCパネル下地・新規塗装仕上

## 材料仕様

製品名	荷姿	㎡当り使用量	備考
ライトフィラーCM2	20kg/袋	5.0kg/㎡ (清水含まず)	混合比(重量比) 粉体:清水=20:4 ネット張付け用 (t3程度)
プレミックスライトフィラー	20kg/袋	2.7kg/㎡ (清水含まず)	混合比(重量比) 粉体:清水=20:4 仕上塗り用(新規塗装 t1.5程度)
P1ネット	巾1.1×長さ100m/巻	1.0㎡	アラミド・ビニロン複合ネット
ALCビス	Φ6×65:200本/箱 【標準】	9本/㎡	ワッシャーφ35付 ステンレス製 ビス長さ35,40,50,80mmがあります。



**P1ネット**  
 ・横：アラミド繊維  
 ・縦：ビニロン繊維

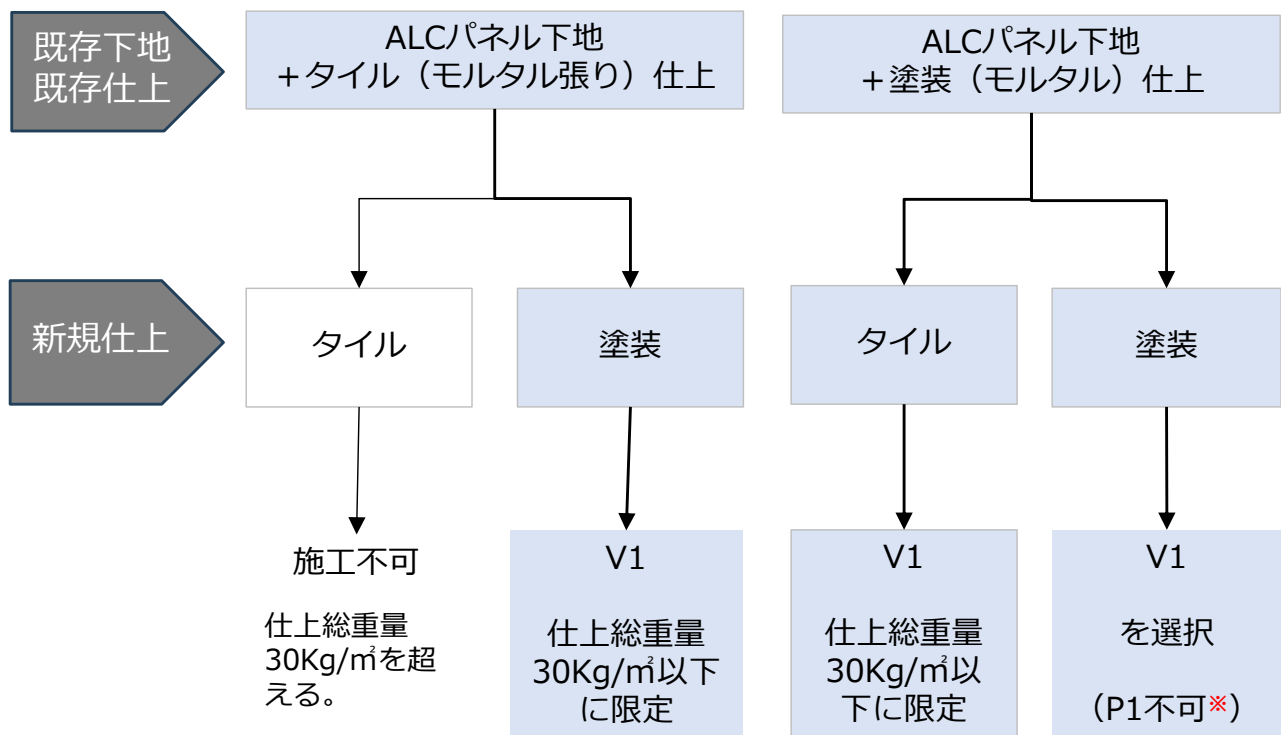


**ALCビス**  
 ワッシャーφ35

## 適用フローチャート

ALCの表面強度は弱いいため、ALC下地にネットバリアー工法で改修する場合は、新旧の仕上げ総重量が30Kg/㎡以下に限定してALC表面に負荷がかからないように計画します。

具体的には、**モルタルや仕上材料を含めた新旧の総厚が15mm以内であることを判定値とします。**

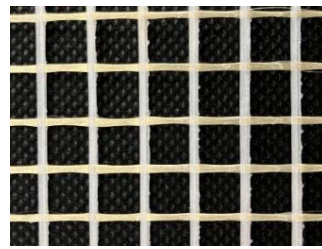
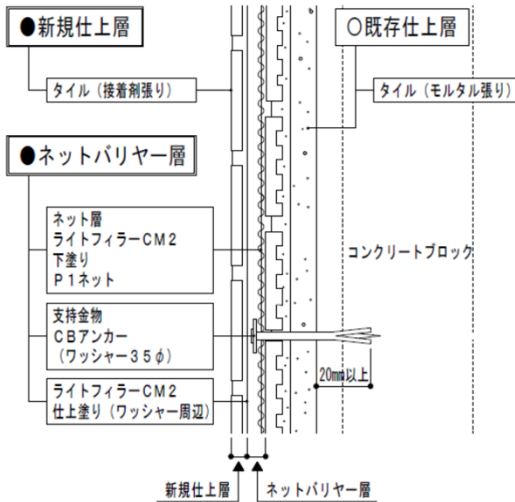


※ALC表面剥離のおそれがあるため、V1によりネット層の厚さを確保しアンカー支持する。

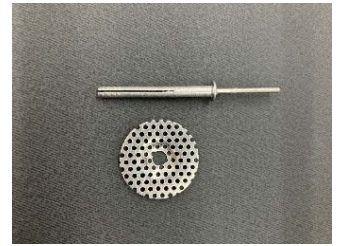
# ③ ブロック下地・新規タイル仕上

## 材料仕様

製品名	荷姿	m <sup>2</sup> 当り使用量	備考
ライトファイラーCM2	20kg/袋	5.0kg/m <sup>2</sup> (清水含まず)	混合比(重量比) 粉体:清水=20:4 ネット張付け用 (t3程度)
ライトファイラーCM2	20kg/袋	3.3kg/m <sup>2</sup> (清水含まず)	混合比(重量比) 粉体:清水=20:4 ネット張付け用 (t2程度)
P1ネット	巾1.1×長さ100m/巻	1.0m <sup>2</sup>	アラミド・ビニロン複合ネット
CBアンカー	Φ6×55:100本/箱 Φ6×70:100本/箱	6本/m <sup>2</sup>	ワッシャーφ35付 ステンレス製



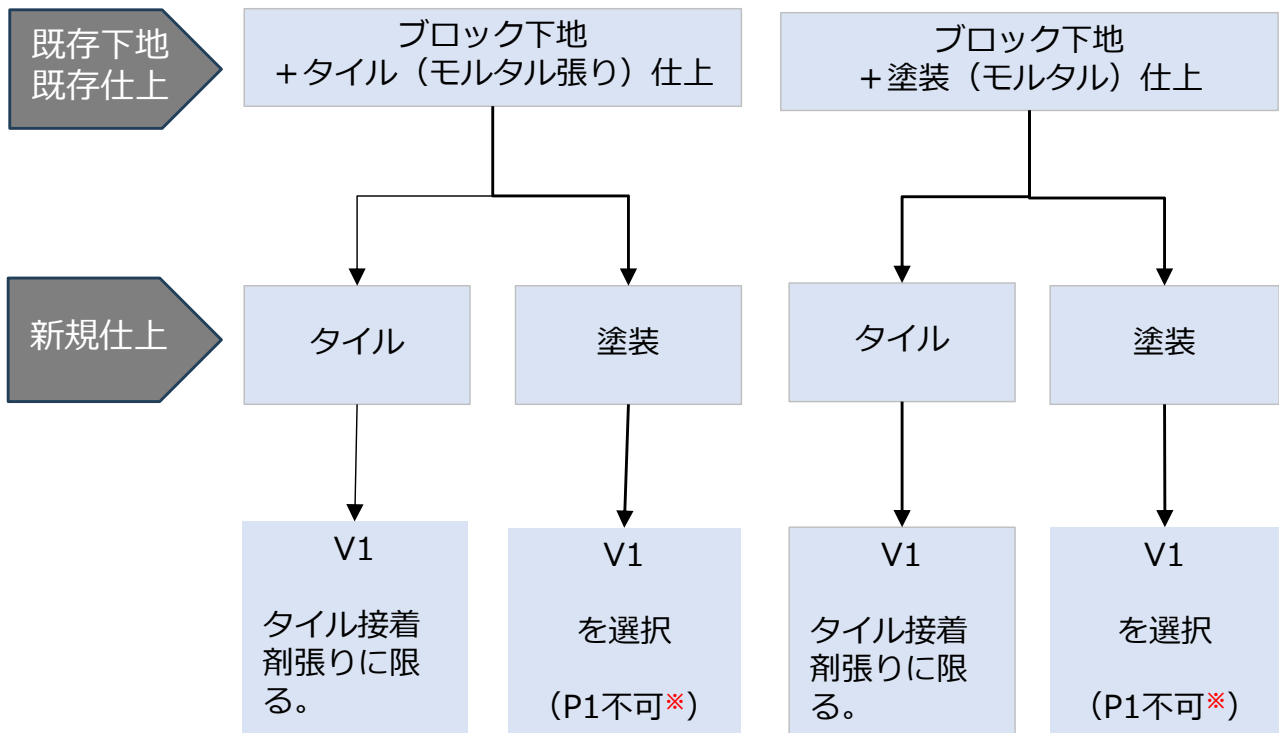
P1ネット  
 ・横：アラミド繊維  
 ・縦：ビニロン繊維



CBアンカー  
 ワッシャーφ35

## 適用フローチャート

地下鉄などの二重壁（ブロック）の上に、新規タイル張り改修を行う場合があります。二重壁のコンクリートブロック下地は長期間の湿潤と乾燥を繰り返し、既存仕上層のはく離リスクが高くなりますので、将来のはく離を想定したネット層を構築します。ただし、新規タイルは接着剤に限定されます。



※コンクリートブロック下地と旧仕上層は、はく離のおそれがあるため、V1によりネット層の厚さを確保しCBアンカーでブロックに支持する。

# 性能

## ① ライトファイラーCM2による複合補修層の面外曲げ試験

番号	破壊荷重 (N)	変位 (mm)	評価基準
1	746	15.91	荷重490N以上または変位30mmになるまで改修層が破断しないこと(建設技術評価制度に準拠)
2	746	12.21	
3	746	15.08	
平均値	746	14.40	

## ② アンカー周辺部の面外耐力試験

番号	標準養生 引張強度(N/箇所)		熱水繰返し 引張強度(N/箇所)	
	一次引張	二次引張	一次引張	二次引張
1	671.0	470.0	989.0	486.0
2	900.0	126.0	855.0	498.0
3	760.0	417.0	1080.0	481.0
4	992.0	167.0	1557.0	416.0
5	814.0	204.0	983.0	413.0
平均値	827.4	276.8	1092.8	458.8

【判定値：271.0N/箇所】

- ・一次引張：ネットバリアー層の最大引張強度
- ・二次引張：一次引張後、ネットの追従性による引張強度(変位10mm時の引張強度)

※破断面は全てワッシャー周辺

## ③ ライトファイラーCM2 JIS A 6916 下地調整塗材(CM-2)品質規格

試験項目		単位	試験結果	規格	
軟度変化		%	5.6	-20～20	
耐ひび割れ性		-	異常なし	ひび割れがないこと	
耐衝撃性		-	異常なし	ひび割れ及び剥がれがないこと	
曲げ強さ		N/mm <sup>2</sup>	10.3	5以上	
圧縮強さ		N/mm <sup>2</sup>	52	10以上	
付着強さ	標準	N/mm <sup>2</sup>	2.4	1.0以上	
	低温	N/mm <sup>2</sup>	1.5	0.7以上	
吸水量		g	1.2	2以下	
透水量		ml/h	0.1	0.5以下	
長さ変化		%	-0.06	0～-0.15	
耐久性	複層	外観	-	異常なし	割れ・膨れ及び剥がれがないこと
		付着	N/mm <sup>2</sup>	1.6	1.0以上
	タイル	付着	N/mm <sup>2</sup>	1.4	0.6以上

※施工上の注意 ● 既存下地の凹凸が大きい場合は別途下地調整が必要になります。



〒464-0003  
 名古屋市千種区新西二丁目3番6号  
 TEL. 052-774-6621  
 FAX. 052-774-6627  
 Website. <https://renotec.co.jp>

特約店